

第1部／序論

第1章 計画策定の考え方

第1章 計画策定の考え方

第1節 計画策定の趣旨

JA岡山西においては、温暖な気象条件を活かして、もも、マスカットなど多くの生産がなされてきており、また組合員の多様な営農を通じて「食」と「農」と「環境」が調和した「うるおいある農空間に根ざした産業」を育て豊かな農産物を生産してまいりました。

豊かな住民の暮らしを支え、そして地域社会を守ることを基本理念「人と人のふれあい、結びつきを大切に」とし、組合員、地域の皆さまとともに歩む農業の樹立に努めています。

今後、全組合員とともに広域な管内の様々な地形と自然条件を活かして、新たな「農」をつくりだし安全・安心な食料の安定供給をはじめ、農地・自然環境の保全や地域社会の維持発展など、多様な役割を果たしていくことが求められています。

このような視点から、JA岡山西では、10ヵ年計画として「驚きと感動を与えるチャレンジプラン・JA岡山西営農振興計画」を策定し、その実現に向け、具体的な施策を実施します。

計画策定の趣旨は、農業と地域社会に根ざしたJA岡山西組織としての新しい農業の価値を創出し地域の持続的発展に寄与することを誠実に果たすことです。

第2節 計画の性格と役割

この計画は、今後10年間JA岡山西が取り組むべき基本目標を掲げ、営農支援体制と販売力を強化し農家所得の向上をはかるとともに、さらなる地域営農振興に組織の総力をあげて進むべき指針となるものです。新たなJA岡山西づくりを着実に進め、組合員、地域住民に喜んでいただき、満足していただけることを活動の根幹に、常に変化する情勢にもすばやく対応できるよう計画の実現にあたります。また、組合員一人ひとりが地域農業を守る際の指針となることも期待しています。

- 施策を総合的に推進する基本的な指針であります。
- 農業・農村の振興に向けた取り組み指針であります。
- 岡山西地域の食と農を盛んにする基本計画として位置づけます。

また、社会経済情勢の変化や組合員・地域住民等の意向などに的確に対応するため、必要に応じて随時見直すこととします。

第3節 計画の構成と期間

この計画は、「第1部 序論」、「第2部 基本構想」、「第3部 基本計画」、「第4部 3ヵ年のアクションプラン」の4部で構成されています。

この計画は、平成31年度を目標年度とし、平成21年度を初年度とする10ヵ年計画とします。